



今月の予定

7月15日(月)は 獣医師勉強会のため最終受付時間を(6時45分とさせていただきます。
祝日も通常通りの診察時間となっております。
その他、最新情報は院内掲示板またはホームページをご覧ください。

熱中症を防ごう！

7月になり、あっという間に夏がやってきましたね。
暑い日が連続くと熱中症の危険性も高まります。
猛暑から大切なペットたちを守りましょう。

日本動物愛護協会



参考に
してあげ
て！



原因

- ① 気象条件
・気温 ・日射 ・湿度
- ② 犬種や体型
重か物は体温を下げるために“ハァハァ”と気道で蒸散させます。
鼻が短い短頭種はこの蒸散が難しい場合があります。
肥満な子も熱中症になりやすく、厚い皮下脂肪が体表からの熱放散の妨げになります。



また、のどの周りについてしまった脂肪が気道からの蒸散を妨げます。

症状

- ・激しい口呼吸 ・歯肉や結膜の充血 ・頻脈
- ・ぐったりしている ・体温が高い ・意識障害 など



対策

- ・室温を25度以下に設定しましょう。
人が肌寒いくらいが重か物たちには適温です。
クーラーを使用しサーキュレーターや扇風機で空気の循環を作りましょう。
- ・直射日光を避けましょう。
暑い時間のお散歩は危険です。また、外出する前にアスファルトを触って地面からの熱さも確認しましょう。
屋内でも自由に居場所を選べることも大切です。
- ・いつでも自由に飲水できるようにしましょう。
- ・車内に置き去りにしないください。
冷感素材のお洋服やハンやリマット、クールネックの使用も良いですね。
熱中症のような症状があれば当院にご連絡ください。
健康で楽しい夏をお過ごしください。



7月31日はミックス犬の日

みなさんはミックス犬の日をご存知ですか？
2005年に制定され、ミックス犬の魅力の普及や今もシェルターに保護されているが新しい家族のご縁に恵まれることを願う日です。
そこで、来院してくれたかわいいミックス犬たちを紹介させていただきます。
ご協力してくださった皆様ありがとうございます♡



いちいちちゃん

わんにゃんまめ知識

今回は「体温」についてのお話です。
お散歩の後や、お家の中を駆け回った後に、身体が熱いなと感じたことがあるかと思います。
ペットたちの“いつも通り”を知っておくとも違う様子に気づきやすくなりますね。
わんちゃんねこちゃんは 37.5 ~ 38.5℃ が平熱です。
小型犬は少し高め、シニアは少し低めが正常ですが熱中症や感染症にかかると体温が高くなり、寒い環境に長時間いたり体温調節が難しい年齢だと体温低くなります。
病院では直腸温といって肛門に体温計を挿入して測定します。
人間用の体温計でも測れますが、柔らかい素材でできているペット専用を使うと安全に測ることができ、使い捨てカバーをつけて衛生的です。
お家ご測定は難しいと思いますので、“いつもと違う様子”を感じたら当院にご連絡ください。



コロくん

